

# 伊勢本街道と伊勢いもの里を巡るコース (12.86km)

JR線を使ったウォーキング

- ① 相可駅 0.65km ② 相可の町並・道標広場 0.9km ③ 四疋田常夜灯 0.35km ④ 法受寺 0.15km ⑤ 歓喜寺 0.45km
- ⑥ 道標地蔵 (歯痛地蔵) 0.95km ⑦ 津田神社・光徳寺 1.6km ⑧ 不動院仏足石 0.05km ⑨ 鋏形の発電所跡 0.71km ⑩ 光法寺 2.1km ⑪ いぼ地蔵・廻国供養塔 0.7km ⑫ 伊勢いも資料館 2.65km ⑬ 浄光院 1.1km
- ⑭ 長盛寺 0.5km ⑮ 相可駅
- トイレ お食事可 土産物あり

## ④ 法受寺

真宗大谷派の末寺でもと松阪市日川にあり江戸時代この地に移って来られた本尊阿弥陀如来立像は鎌倉時代の秀作であります。三谷蒼山、(25才から三谷家を継ぐ1841年(63才)死亡)の顕彰碑が建っています。



相可の町並  
道標広場

長盛寺

浄光院

相可駅

法受寺

歓喜寺

四疋田  
常夜灯

道標地蔵  
(歯痛地蔵)

津田神社・光徳寺

いぼ地蔵  
廻国供養塔

伊勢いも資料館



## ⑬ 浄光院

浄光院は相可にある、浄光院、浄土寺、長盛寺の中で最古のもので、この寺は、長社山(ながもりざん)といい、もと相鹿上神社の別当寺であった。天台宗のお寺で寺伝によると正平年中(1346~70)国司北畠顕能が祈願所として創建したといわれ、お寺には町指定文化財の三摩耶戒儀があります。この三摩耶戒儀は灌頂(密教で仏門に入る者や昇進者の頭上に香水を注ぐ儀式)を行う前に修せられました。摩耶戒の儀式次第で永正11年(1519)僧永盛により筆写されたもので、町内における中世文書の代表的なもので卷子(かんす)に表装されています。観音堂、不動堂(護摩堂)、愛宕権現堂があり、観音堂は寶形造で、棟に銅製の宝珠を掲げ、建物は唐様、本尊聖観音立像は、鎌倉時代のものです。

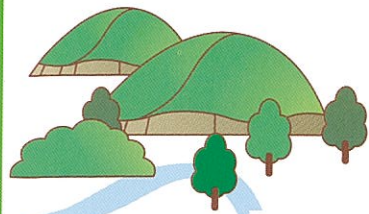


## ⑭ 長盛寺

浄土真宗高田派の御寺で、天正4年(1576)北畠具教が三瀬の館で謀殺され伊勢国司家が滅亡したときその一族が国司家の家宝の薙刀一柄と守護神金伽羅童子の画像を持って川添村栃原(現大台町)に、草庵を建てて具教の菩提を弔った。これがのち長盛寺に移り国指定の重要文化財になっています。

## ⑫ 伊勢いも資料館

多気町の特産品である「伊勢いも」について、栽培の歴史から料理法まであらゆる資料を山口泰生宅に展示、公開しています。



光法寺



櫛田川

鋏形の発電所跡



不動院  
仏足石



伊勢自動車道

